

Oh!Me



新毎日新聞

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

vol.415・5月10日号 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

滋賀ガイド www.gaido.jp

●Oh!Me 編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603 発行部数:100,000部
●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5



まつした しゅうじ
松下修治さん(大津市在住・65歳)

素敵な人

水ロケットで、子どもたちに「科学の夢」と「感動」を!



水の入ったペットボトルに空気を入れ、空気が元に戻ろうとする力で飛ばす「水ロケット」。松下修治さんは、各地で体験イベントや講座を開き、子どもたちの科学に対する夢を引き出し続けている。

と飛ぶ姿のカッコよさは想像以上だった。水の量や空気の入れ方を変えて工夫してみると、飛距離がどんどん伸びて楽しい。大人でも楽しいのだから、子どもはもっと楽しいはず。試しに生徒にもやらせてみた。予想通り、みんな生き生きとした顔になった。



「これだ!」と思った。これなら科学に興味持ち、科学への夢を膨らませるきっかけづくりになると確信。日本ペットボトルクラフト協会の本部で講習を受け、指導者の資格を取って生徒に教えた。授業はもちろん、文化祭の科学部展示でも水ロケットを飛ばしてみた。想像以上に盛り上がった。96年夏、大津市の大石グラウンドで、ペッ

トボトルロケット大会を開催。96、97年は全国的に水ロケットがブームで、小学校への出張授業や地域イベントで大会を開催したりもした。98年、東大津高校に転勤となり、翌年から科学部の顧問になった。

独創的なアイデアで各種大会に入賞

松下さんが作る水ロケットは、1.5%のペットボトルを3本使い、牛乳パックやプラスチックで羽根を付けたもの。安定性と見た目のカッコよさを兼ね備えたオリジナルのものだ。学校の科学部は「アイデア水ロケットコンテスト」に8年連続で出場。99年には、打ち上げると団子が割れてパラシュートで落下する「だんご三兄弟ロケット」で準優勝を果たした。ほかにも、マツケンサンバを模した派手なキラキラロケットや、スカート部がパラシュートになって上半身は『オッハー』の掛け声で手をOKマークする人形型の「慎吾ママオッハー」(フランス国特別審査委員賞)など、独創的でおもしろいロケットを数多く作っている。

もちろん、失敗も少なくない。「ステルス戦闘機モデル」は、大きな翼が邪魔になって、全く飛ばなかった。「傘ロケット」も上空で開くはずの2分の傘形パラシュートが開かなかったという。

2年前にはタイで開かれた世界大会に出場。昨年はNHKの小学校4年理科の番組にも出演した。

親子の触れ合いも

「喜ぶ生徒たちを見るのがうれしくて、定年退職するまで14年間、授業で水ロケットを飛ばしてきました」



今は毎年、親子で楽しむ水ロケットイベントを実施している。親が作った水ロケットに子どもが喜び、飛ばした瞬間は大人も子どもも大はしゃぎ。感動の触れ合いに花が咲く。子どもたちは走ってロケットを拾いに行く。「親子の触れ合いがほほ笑ましい」と松下さんは目を細める。

(取材・鎌山) 詳しくは www.gaido.jp/suteki

松下修治

●大津市松が丘2-1-8 ●TEL:077-576-0779

滋賀生活情報紙「Oh!Me」はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。毎日新聞のご購読お申し込みはフリーダイヤル **0120-468-012**

滋賀県立近代美術館 企画展

日本絵画 組み合わせの美

4月14日[土] - 6月3日[日]

[開館時間] 9時30分~17時(入館は16時30分まで) [休館日] 月曜日
[観覧料] 一般750円(550円)、高大生500円(400円)、小中生300円(250円)
※()内は前売及び20名以上の団体料金

THE MUSEUM OF MODERN ART, SHIGA
滋賀県立近代美術館

tel 077-543-2111

大津市瀬田南大萱町1740-1(文化ゾーン内)
JR瀬田駅よりバスで約10分

www.shiga-kinbi.jp/
滋賀 近代美術館 検索



「組み合わせ」の魅力に迫る、
屏風や掛軸、約25点を展示

北野恒富「暖か」(大正四年)



北野恒富「鏡の前」(大正四年)

